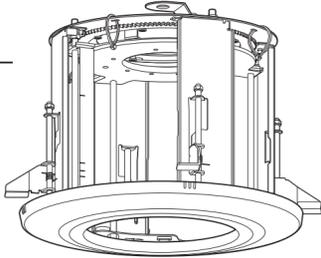


取扱説明書

工事説明付き

カメラ天井埋込金具

品番 WV-QEM101



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保存してください。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイト
を参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

※「日本エアリア」でお使いの場合に限りです。日本以外でお使いの場合のサービスは
いたしかねます。

取扱説明書に記載されている「<管理番号：Cxxxx>」は、以下の弊社技術情報
ウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022



注意： ● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。	注記： ● 本金具は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。 ● 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。 ● 設置に必要なねじやそのほかの部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。
-----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---------------------------------	--------------------------------------------

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。** (次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

警告

禁止
■ **専用のカメラ以外は取り付けない**
(落下によるけがや事故の原因となります。)

注意
■ **工事は販売店に依頼する**
(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)
⇒ 必ず販売店に依頼してください。
■ **落下防止対策を施す**
(落下によるけがや事故の原因となります。)
⇒ 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
■ **ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける**
(落下によるけがや事故の原因となります。)
■ **設置の説明にしたがって天井にしっかり取り付ける**
(けがや事故の原因となります。)

注意

禁止
■ **金属のエッジで手をこすらない**
(強くこするとけがの原因となります。)

本金具をご使用の際は、取り付けるカメラの取扱説明書に記載された「安全上のご注意」とあわせてお読みください。

商品概要

本金具は、カメラ用の天井埋込金具です。二重天井の石こうボードなどのねじ引き抜き強度が弱い場所に使用でき、カメラの露出部分を小さく見せるために埋込型になっています。



取り付け可能なカメラの最新情報
<管理番号：C0501 >

仕様

使用温度範囲	-10℃～+55℃
寸法	最大径：φ245 mm / 高さ：203 mm (飾りカバー含む)
質量	約1.3 kg
仕上げ	本体：表面処理鋼板 飾りカバー：ABS樹脂 i-PRO ホワイト

設置上のお願い

■ **設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。**

本金具の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、カメラ、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

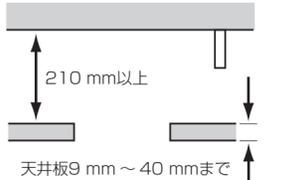
■ **傷害防止のため、本金具は、設置の説明に従って天井にしっかりと取り付ける必要があります。**

■ **本金具は屋内専用です**

屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

■ **本金具の取付場所について**

- 設置場所は、カメラ取り付け時の総質量に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- 天井裏が210 mm以上ある場所に設置してください。
- 天井板の厚さは、9 mm～40 mmまで取り付けが可能です。



■ **本金具を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。**

付属品をご確認ください

取扱説明書(本書).....	1冊		
以下の付属品は取付工事に使用します。			
落下防止ワイヤー*	1個	飾りカバー(メイン・サブ) i-PRO ホワイト...	各1個
落下防止ワイヤーアングル*	1個	ねじ(M4×8 mm).....	5本
型紙A.....	1枚		(うち1本は予備)
型紙B.....	1枚	紙ゲージ.....	1枚

※ 落下防止ワイヤーは落下防止ワイヤーアングルに取り付けた状態で出荷されています。

付属品以外に必要なもの

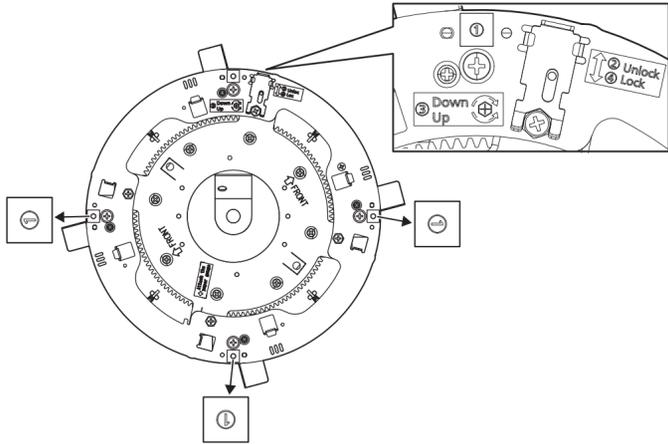
アンカーボルト(M10)*.....	2本	ナット(M10).....	6個
--------------------	----	---------------	----

※ 1本のアンカーは取付シャーシの固定に、もう1本のアンカーは落下防止ワイヤーの接続に使用します。(Step2参照)

重要

- 本金具を設置する場所の材質や強度に合わせてアンカーボルトを用意してください。アンカーボルトの引き抜き強度は、設置する機器(カメラ本体、カメラ天井埋込金具、アンカーボルト、その他すべての部品)の総重量の5倍以上を確保してください。

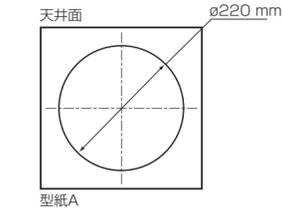
■ **本機埋込シャーシには以下のように、調整手順に使用するラベルが貼られています。**



設置する

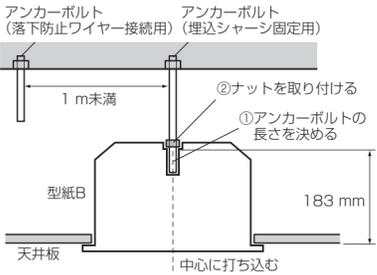
カメラの取り付け、ケーブルの接続、調整などの詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

Step1 型紙A(付属品)を天井にあて、φ220 mmの穴をあける



Step2 天井にアンカーボルト(推奨：M10)2本を打ち込む

片方は埋込シャーシ固定用で、もう片方は落下防止ワイヤー接続用です。
① 型紙B(付属品)でアンカーボルト(埋込シャーシ固定用)の長さを決めます。
② 型紙B(付属品)でナットの位置を決め、取り付けます(天井下面から183 mmの位置にナットの下面がくるようにします)。

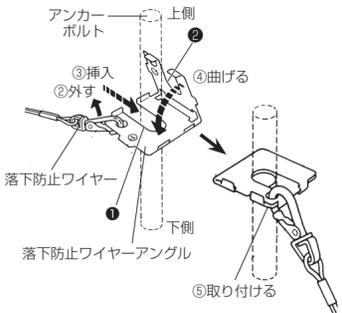


重要

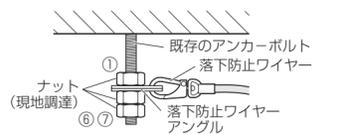
- アンカーボルトは、設置する機材(カメラ本体、カメラ天井埋込金具、アンカーボルト他すべての部品)の総重量の5倍以上の引抜強度があるものを選択してください。
- 落下防止ワイヤー接続用のアンカーボルトとして、すでに天井に打ち込まれているものを使用する場合は、カメラ取り付け位置から1 m以内にあることをご確認ください。

Step3 アンカーボルト(落下防止ワイヤー接続用)に落下防止ワイヤーアングル(付属品)を固定し、落下防止ワイヤー(付属品)を取り付ける

- ① アンカーボルト上の落下防止ワイヤーアングルを固定する位置にナットを取り付けます。
- ② 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルから外します。
- ③ 落下防止ワイヤーアングルの●側の溝を、アンカーボルトに入れます。
- ④ 落下防止ワイヤーアングル●側の溝を、アンカーボルトに入れながら、落下防止ワイヤーアングルを閉じます。
- ⑤ 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルに取り付けます。
- ⑥ ナットを下から通し、上下のナットで落下防止ワイヤーアングルを固定します。
- ⑦ 手順⑥で下から挿入したナットをダブルナットで締め付け固定します。

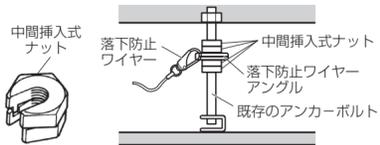


<落下防止ワイヤーの接続>



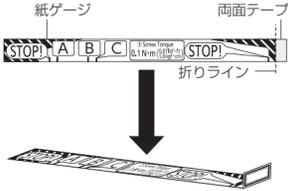
メモ

- 既存のアンカーボルトを使用して落下防止ワイヤーを接続する場合、中間挿入式ナットを2個使用すると便利です。



Step4 紙ゲージ(付属品)をカメラ取付ステージに貼り付けます。

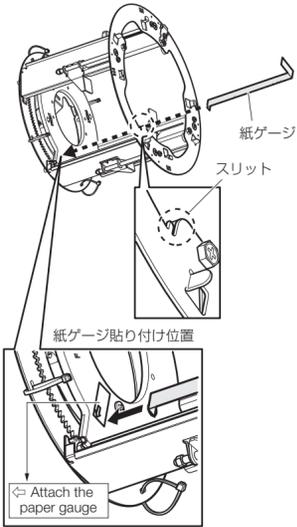
① 紙ゲージの両面テープが付いている側を図のように直角に折り曲げます。



② 紙ゲージの両面テープから剥離紙をはがします。

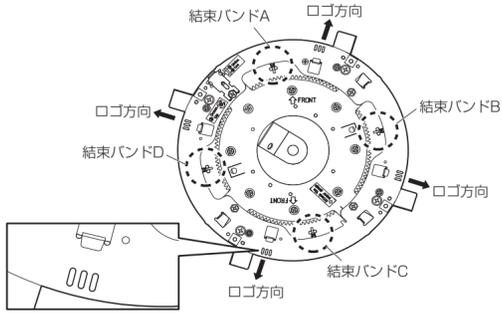


③ 本金具を下図のように横向きにし、紙ゲージをカメラ取付ステージに貼り付けます。紙ゲージは下図のスリットを通るように貼り付けてください。

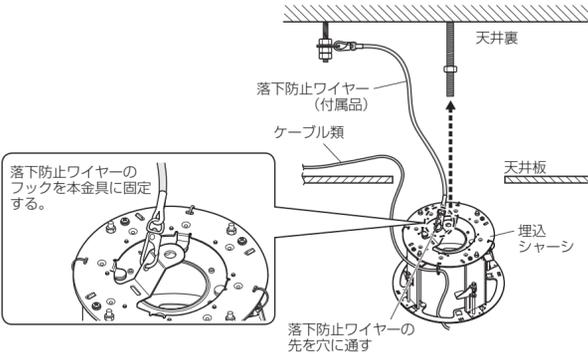


Step5

① あらかじめ、天井からのケーブル類を埋込金具に取り付けてある4か所の結束バンド(A～D)の輪の中へ通しておきます。ケーブル類を通すために使用する結束バンドは、モデルによって異なります。取り付けるカメラの配線接続の向きに合わせて選択してください。



② 埋込シャーシに落下防止ワイヤーを下図のように取り付け、Step1であけた穴に差し入れ、天井裏に入れ込みます。このとき、埋込シャーシの▯マークの方向に最終飾りカバーを取り付けたときのロゴの方向を合わせる事ができます。ブランドロゴの方向を気にされる方は、この▯マークの方向で向きを決めてください。



Step6 天井板固定ねじ（4か所：ラベル①のねじ）で埋込シャーシを天井に固定します。

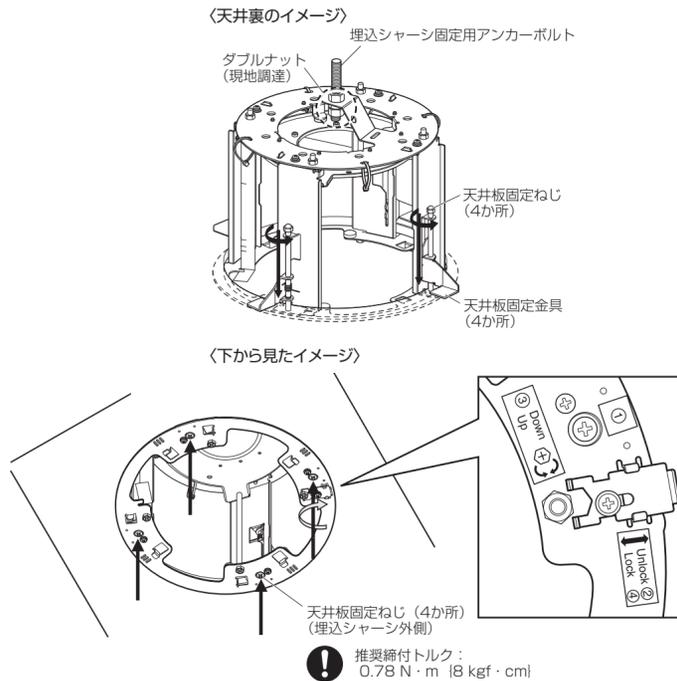
- 埋込シャーシの上部をアンカーボルト（埋込シャーシ固定用）に通します。
- 天井板固定ねじを下から見て時計方向に回転させ、埋込シャーシを固定します。天井板固定ねじを回すと、天井板固定金具が天井板を挟み込み、固定できます。

！ 推奨締付トルク：
0.78 N・m {8 kgf・cm}

重要

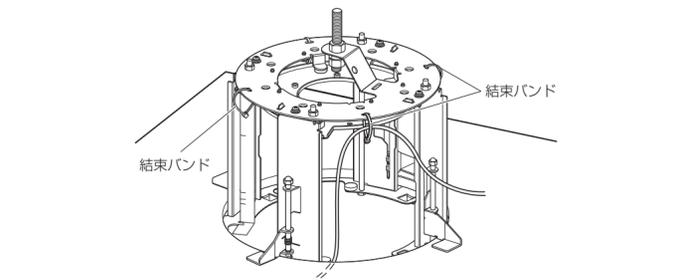
- 埋込シャーシを天井に固定する際、4つの天井板固定金具が下図(③)のように開いた状態になっていることを確認してください。

- ダブルナット（現地調達）で埋込シャーシの上部を固定します。



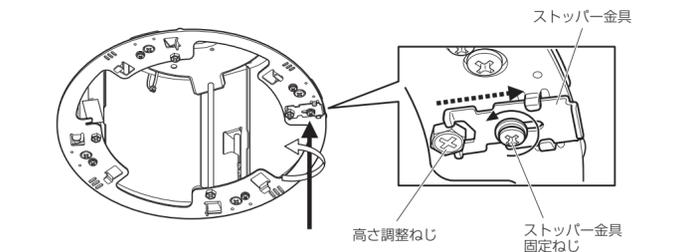
Step7 ケーブルを準備する

埋込シャーシの隙間からケーブルを引き出してください。金具を天井に取付けたときの配線イメージは下図ようになります。配線が、天井板固定金具などに挟まらないようにしてください。



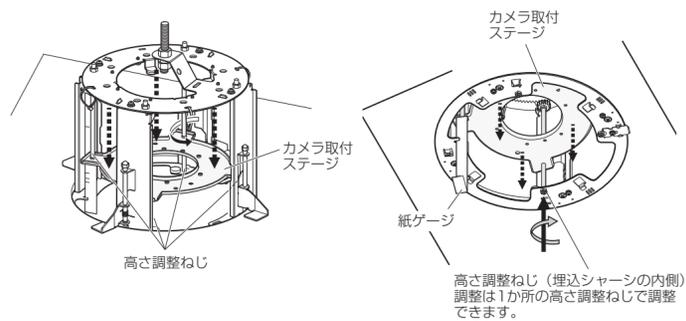
Step8

ストッパー金具固定ねじを緩めストッパー金具を本金具の外側に向けてスライドさせ（ラベルの②Unlock方向）、高さ調整ねじのロックを外します。



Step9

高さ調整ねじ（4か所のうちどれか1か所）を下から見て時計方向に回転させ（ラベルの③Down方向）、カメラ取付ステージを奥から一番手前まで移動させます。このとき、カメラ取付ステージに取り付けられた紙ゲージも一緒に下がってきます。埋込シャーシとカメラ取付ステージとの間にケーブル類が挟み込まれないように線処理をしてください。



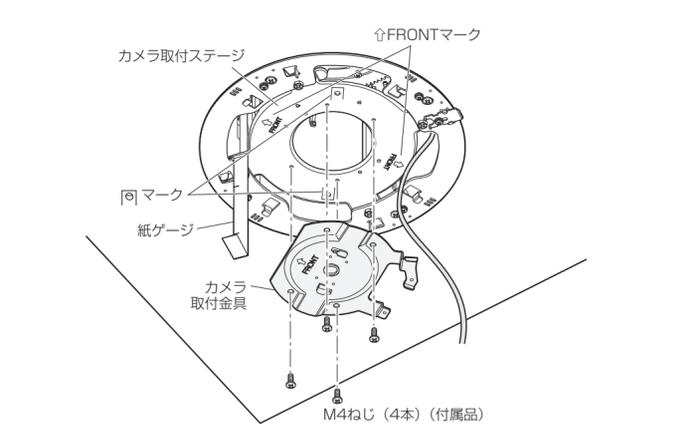
！ 締付トルク：0.1 N・m {1 kgf・cm}
※0.29 N・m {3 kgf・cm} 以上のトルクをかけないでください。破損の原因となります。

Step10 カメラ取付ステージにカメラ取付金具（カメラ付属品）を取り付けます。

カメラ取付金具の⇄FRONTマークと、カメラ取付ステージのケーブル類が通っていない方向の⇄FRONTマークとを合わせます。カメラ取付金具はM4ねじ（付属品）で4か所固定します。

！ 推奨締付トルク：
1.57 N・m {16 kgf・cm}

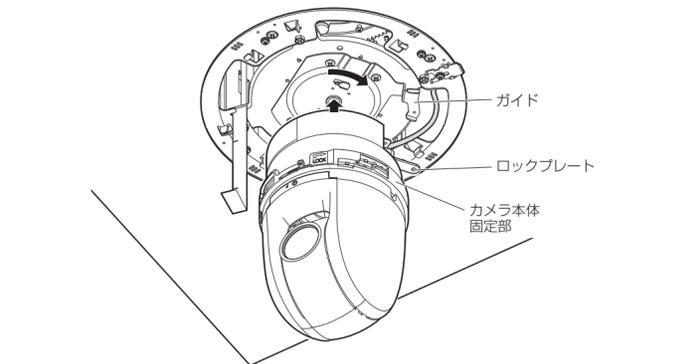
配線は、埋込シャーシとカメラ取付ステージの間を通して下の方に出しておいてください。



Step11

カメラにケーブル類を接続し、下図のようにカメラの底部中心をカメラ取付金具の中心に合わせ、差し込み、ロックプレートガイドに合わせ、下から見て時計方向に約20°回転させて仮固定してください。

*カメラ取り付け方詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。



重要

- 取り付け時、ケーブルをはさまないように注意してください。
- 必ずカメラ本体固定部を持って取り付けてください。ドーム部を持ちながら取り付けると、故障の原因となります。

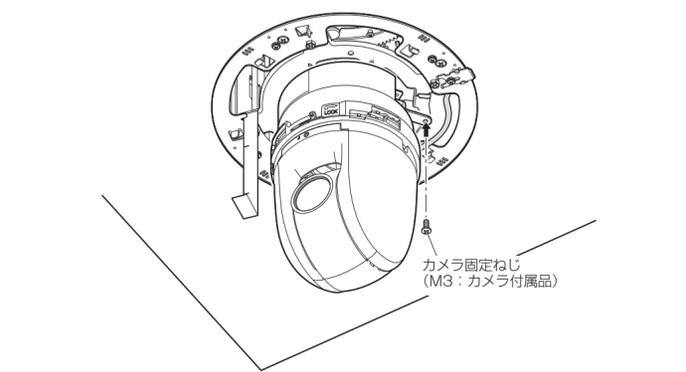
Step12

カメラ固定ねじ（M3：カメラ付属品）1本でカメラとカメラ取付金具（カメラ付属品）を固定します。

！ 推奨締付トルク：
0.68 N・m {7 kgf・cm}

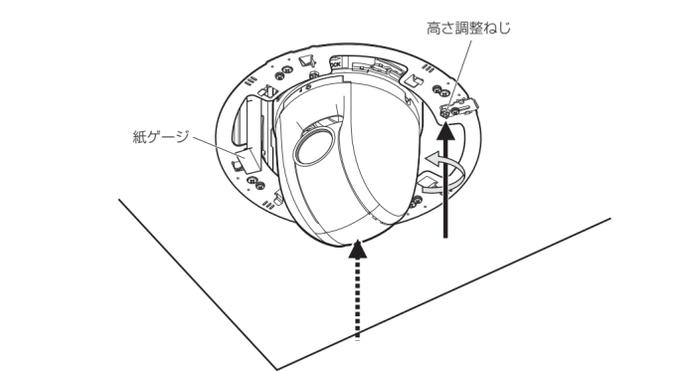
メモ

- WV-QDC100（ドームカバー）を使用時は、カメラを固定後に取り付けます。



Step13

高さ調整ねじ（4か所のうちどれか1か所）を下から見て反時計方向に回転させ（ラベルの③Up方向）、カメラ取付ステージを紙ゲージに表示されているA～Cの位置まで上げます。



！ 締付トルク：0.1 N・m {1 kgf・cm}
※0.29 N・m {3 kgf・cm} 以上のトルクをかけないでください。破損の原因となります。



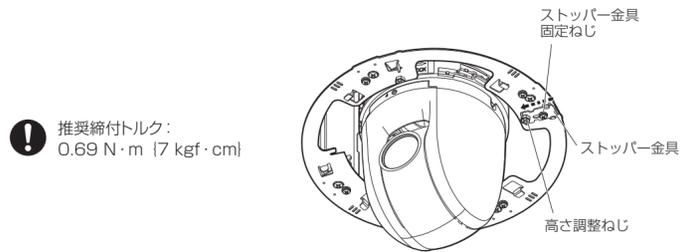
メモ

- 紙ゲージに記載されているA～Cについて以下のモデルを取付時に設定する高さとなります。対応モデルについては弊社技術情報ウェブサイトの取り付け可能なカメラの最新情報<管理番号：C0501>を参照してください。
A：カメラにオプションドームカバーを付けて使用する場合
B：カメラ単体を取り付ける場合
C：予備

カメラの高さ調整終了後、紙ゲージを引っ張り、本金具より取り外して廃棄してください。

Step14

ストッパー金具を押し込み（ラベルの④Lock方向）、高さ調整ねじをロックしてください。次にストッパー金具をストッパー金具固定ねじで固定してください。

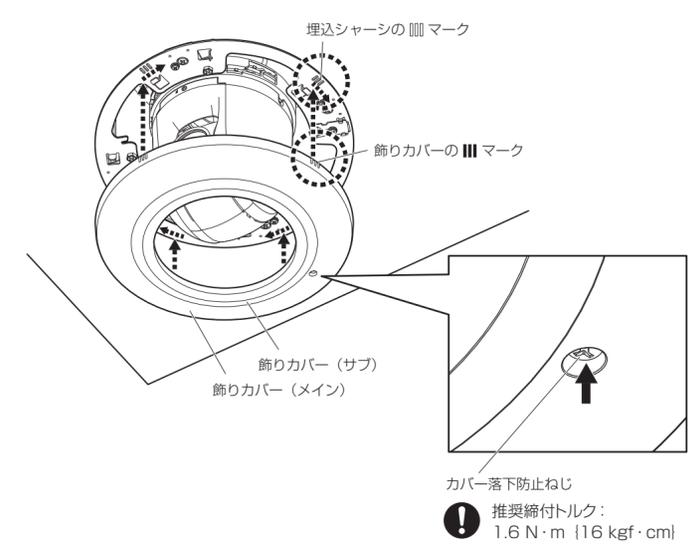


Step15

カメラのレンズに付いている保護シートをはがしてください。

Step16

- 本金具に同梱されている飾りカバーのIIIマークを埋込シャーシのIIIマークに合わせて飾りカバーを天井に押し付け、下から見て時計方向に回転させ、飾りカバーを仮固定します。
- カバー落下防止ねじを締めて固定します。



メモ

- 本金具を使ってカメラを天井に埋め込んで設置するときは、カメラ本体に同梱されている飾りカバーは使用しません。
- WV-S61302-Z4にWV-QDC100（ドームカバー）を組み合わせた状態で本金具を設置する場合は、本金具に同梱されている飾りカバー（メイン）から飾りカバー（サブ）を外して使用してください。
- それ以外の場合は本金具に同梱されている飾りカバー（メイン）に飾りカバー（サブ）が付いた状態で使用してください。

